

2022年8月19日

お客様各位

アンズコフーズ・リミテッド

### ファイブスター牧場における生産の一時停止

2017年、牛の病気である「マイコプラズマ・ボビス」の牛への感染が、ニュージーランドにおいて初めて確認されました。

マイコプラズマ・ボビスは、世界的に牛によく見られる細菌性の病気です。この病気は、密接な接触によって動物から動物へと広がっていきます。人には感染せず、食品安全上の問題はございません。しかしながら、牛の健康状態を悪化させるため、ニュージーランドの酪農・肉牛産業にとって、アニマル・ウェルフェア（動物福祉）と生産性の観点から問題となります。

ニュージーランド政府は、最初の症例が発見された直後に、世界中で行われているように病気に対処するのではなく、産業界と協力してニュージーランドからこの病気を根絶することを決定しました。このため、感染が見つかった農場に対して、再感染のリスクなく牛を安全に再導入することを目標に、適切な待機期間（家畜が農場にいない期間）を設けるなど、今まで新たな症例が発見されるたびに、ニュージーランド全土で多大な作業が行われてきました。

アンズコフーズ（ANZCO Foods）のファイブスター・フィードロット（牛肥育場）でも、過去2年間マイコプラズマ・ボビスが確認されていますが、肥育牛へ栄養価の高い飼料を与え、十分にケアすることにより、この病気に起因した動物の健康問題は発生しておりません。これまで当社はニュージーランド政府と緊密に連携し、必要に応じて撲滅のための戦略を支援してきました。また、フィードロットの特性と強固な運用システムにより、フィードロットは効果的に隔離されている（ここから感染が外部に拡大することはないこと）とニュージーランド政府は認識しており、牧草肥育を行う農場における病気撲滅の対応を行っている間、当社のフィードロットでの操業の継続を認めてきました。

今月、ニュージーランド政府は、アンズコフーズに対して、「マイコプラズマ・ボビス根絶計画の進展に十分な自信を持っており、これからこの病気の最後の大きな感染が確認されているファイブスター・フィードロットに焦点を当てていきたい」と伝えてきました。

それに基づき、政府はアンズコフーズに対して、フィードロットを空にして肥育牧場内の清掃と消毒を行うための待機期間を設けるよう、正式な行政命令を出しました。そしてその後、牛を肥育牧場に再導入することができることとなります。



この肥育場の規模を考えると、大変な作業であることはご理解いただけると思います。当社は法律により政府の指示を遵守する義務を負っております。そのため、当社の事業と世界中のお取引様への混乱を最小限に抑えながら、当局と協力して政府の目標を達成するための明確な計画を策定しています。

ニュージーランド政府は、2022年12月31日までにすべての牛をフィードロットから撤去するよう指示しております。洗浄と消毒のための待機期間が約2ヶ月間かかると想定されており、その後に牛の飼育を再開する予定です。最終製品の品質を確保するために必要な給餌期間を考慮しますと、「ファイブスタービーフ牧場」の穀物肥育牛の出荷再開時期は、2023年7月中の生産再開を予定しています。

アンズコフーズは、2023年下半期には日本の市場に対して穀物肥育牛肉の円滑な供給再開をお約束いたします。

今回の事態により、貴社のビジネスに大きな支障が生じる可能性があることを承知しております。当社、アンズコフーズが選んだ道ではありませんが、このような混乱を招くことを心からお詫び申し上げます。また、辛抱強く、最善の方法を見つけるために建設的に取り組んでくださることに感謝いたします。

リック・ウォーカー  
ジェネラル・マネージャー、セールス&マーケティング  
アンズコフーズ・リミテッド